

大阪大学老年学研究会 平成 25年度活動報告会



老年学は様々な研究領域の研究者が共同し、老化、高齢者、高齢社会について解明しようとする研究分野です。大阪大学でも今後の長寿社会を見据え老年学の研究を推進しようという機運が生まれ、平成25年度に部局を横断的する老年学研究会を組織いたしました。今年度から研究会の活動を学内外の研究者に理解していただき、大阪大学を中心とした老年学の研究ネットワークを充実させるための、研究会シンポジウムを企画しております。今回は、専門家、学生を対象にした活動報告会を企画いたしました。内容は、現在進行中の地域高齢者を対象とした長期縦断研究に関する報告と2名の外部の先生によるご講演からなります。ご講演は、島根県で生活習慣病の予防に関する研究に携わっておられる磯村実先生（島根大学 病態病理学講座）と、我が国における高齢者を対象にした縦断研究の先駆者であられる元東京都老人総合研究所副所長の柴田博先生（人間総合科学大学）をお願いいたしました。

すでに、老化や高齢期の研究を行っている方、これから研究を始めようと考えている方、老年学に興味のある学生の皆さん奮ってご参加ください。

日時：平成 26 年2月9日(日) 午後1時-6時

場所：大阪大学銀杏会館 阪急電鉄・三和銀行ホール

プログラム：

1. 大阪大学老年学研究会の目的

大阪大学老年学研究会会長

大学院医学系研究科老年・腎臓内科学

楽木宏実

2. 第1部 研究報告の部

SONIC 調査の概要	人間科学研究科臨床死生学老年行動学講座	権藤恭之
認知機能の年齢群差-MOCA を用いた評価	東京都健康長寿医療センター研究所	稲垣宏樹
認知に影響する要因としての中高年期の生活環境	東京都健康長寿医療センター研究所	石岡良子
生活習慣病が認知機能に及ぼす影響	大阪大学医学系研究科保健学専攻	龍野洋慶
歯・口腔機能と認知機能	大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座	武下 肇
歯と循環器系疾患・寿命との関係	歯学部附属病院咀嚼補綴科	池邊一典
DNA, RNA, 血清因子を用いた老化・長寿研究の現況	医学系研究科保健学専攻	神出 計

3. 第2部 講演の部

Shimane COHRE Study を活用した

生活習慣病予知予防研究

島根大学

磯村実先生

老化概念の変遷

人間総合科学大学

柴田博先生

4. 大阪大学老年学研究会の今後の展開

大阪大学老年学研究会副会長

人間科学研究科臨床死生学老年行動学講座

佐藤真一

事前申し込みは必要ありません。

事務局：大阪大学大学院人間科学研究科 臨床死生学・老年行動学講座 問い合わせメール Gerontology.Osaka@gmail.com

会場 大阪大学銀杏会館 詳細は↓

<http://www.office.med.osaka-u.ac.jp/icho/icho-jp.html>

主催 大阪大学大学院人間科学研究科
大阪大学大学院医学系研究科
大阪大学大学院医学系研究科
大阪大学大学院歯学研究科

臨床死生学・老年行動学講座
老年・腎臓内科学
総合ヘルスプロモーション科学講座
顎口腔機能再建学講座有床義歯学分野

共催 慶応大学医学部老年内科
東京都健康長寿医療センター研究所